



# connect

## 宝を未来につなぐ

### 1 中山間地域の農業を応援します

私たちの暮らしに恵みをもたらす「山」を将来にわたって引き継いでいくためには、中山間地域の農業を支え、農地を守り続けていくことが重要です。

このため、県では、中山間地域の農業を支える広域営農モデル組織の設立を支援しています。広域営農モデル組織は、担い手の減少や高齢化等により営農を続けることが困難となった農地を引き受けたり、農作業の一部を代行する役割などを担うこととしており、複数の集落が一体となって農作業の労力を補う体制を目指します。

また、棚田地域活性化コーディネーターをモデル棚田地域に配置し、今後も棚田が保全されるよう地域の自主的な取組を支援していきます。



### 2 佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛の生産拡大へ

将来佐賀牛になる子牛(肥育素牛<sup>(※1)</sup>)の約7割は他県から来ており、佐賀生まれの子牛は29.2%(令和元年度)にとどまっています。佐賀牛の安定生産のためには、県内での肥育素牛を早急に増やしていく必要があります。

このため、主要産地である唐津地域で、全国でも最大規模の「牛の産婦人科」ともいべきブリーディングステーション<sup>(※2)</sup>を整備し、肥育素牛の数を大幅に増やします。この施設は、繁殖雌牛の種付けから分娩までの過程を農家に代わって行うだけでなく、繁殖農家等の不妊牛を預かり



治療を行う機能や、担い手を確保・育成するための研修機能も備えた画期的なものです。

こうした取組によって、肥育素牛の県内自給率を高め、「佐賀生まれ、佐賀育ち」の佐賀牛の生産拡大を進めていきます。

※1. 肥育素牛：繁殖農家が約10か月間育てて出荷する子牛のことです。この肥育素牛を仕入れた肥育農家がさらに約20か月間育てて出荷することで佐賀牛などの牛肉になります。

※2. ブリーディングステーション：繁殖雌牛の種付けから分娩までの過程を農家に代わって行うことにより、受胎率の向上や農家の労働力軽減を図るための繁殖支援施設のことです。

### 3 農業分野の人手不足の解消に取り組みます

少子高齢化を背景に、様々な業界で人手不足が生じています。県内の農家やJAの選果場など農業の現場でも、農繁期の収穫作業等で人手不足が課題となっています。

こうした状況を解消するため、県とJAや関係団体で検討を重ね、7月1日にJAさがが実施主体となり、農家等からの労働力確保の相談にワンストップで対応する「労働力相談窓口」が設置されました。

相談窓口では、シニア層の人材派遣を

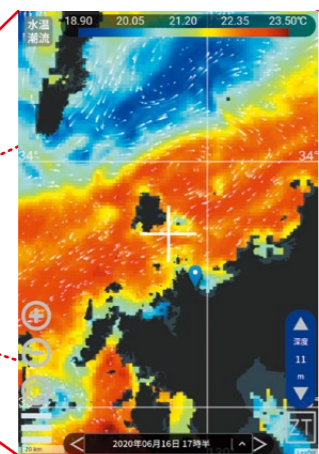
### 4 玄海地区漁業のスマート化を推進します！



行っている各市町のシルバー人材センターや県内ハローワーク等と連携し、農家等からの求人の相談に応じます。今後は、相談窓口がスムーズに運営されるよう、JAをはじめ、関係機関と連携して、農業分野の人手不足解消に取り組みます。

### 4 玄海地区漁業のスマート化を推進します！

玄海地区の漁業は、漁獲量の減少や水産物価格の低迷、燃油や資材コストの上昇により厳しい状況となっています。こうした状況を少しでも改善するためには、ICT<sup>\*</sup>などの技術を活用し、漁業をこれ



海況予測アプリ画面3日先までの海の中を予測できる

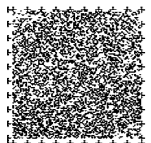
※1. ICT：情報通信技術

県では、大学や国の研究機関等と連携し、3日先までの海の中の水温、塩分、潮流の流れを予測できる画期的な技術などを開発してきました。

こうした技術は、より多くの漁業者が利用し効率化を実現してもらわなければ意味がありません。そこで、開発した技術を、実際の漁の現場で漁業者の方々と一緒に検証しながら改良するとともに、技術の普及を図ることでスマート漁業を推進し、漁家経営の改善を図っていきます。

#### お問い合わせ先

3【農業労働力確保】農産課 ☎0952-25-7118 ✉nousan@pref.saga.lg.jp  
4【漁業スマート化】水産課 ☎0952-25-7145 ✉suisan@pref.saga.lg.jp



#### お問い合わせ先

1【中山間地域農業】農政企画課 ☎0952-25-7115 ✉nouseikikaku@pref.saga.lg.jp  
2【ブリーディングステーション】畜産課 ☎0952-25-7121 ✉chikusan@pref.saga.lg.jp

